

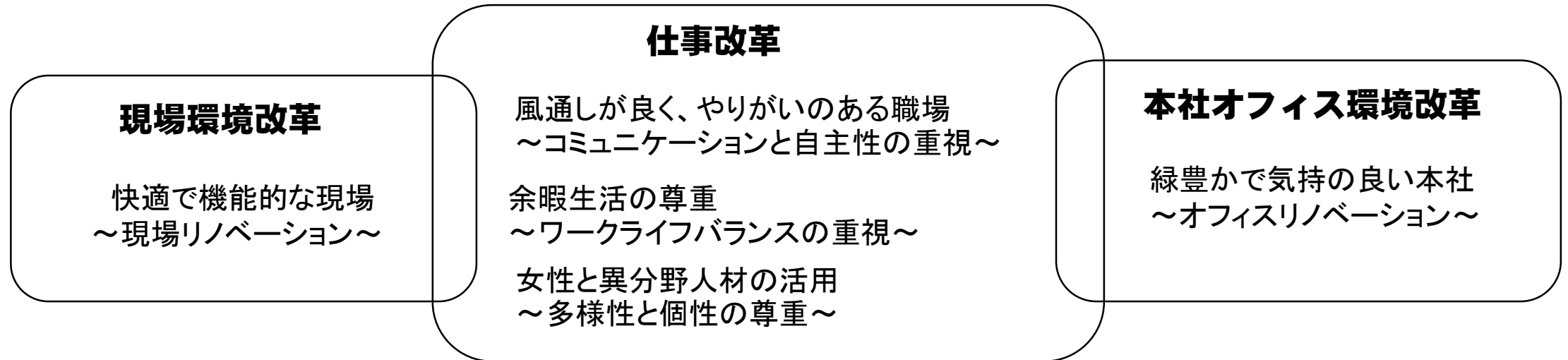
完全週休2日制工事の実施結果と今後の課題

- (1) 草野作工の働き方改革実施方針
- (2) 完全週休2日制工事の実施内容と結果
- (3) 今後の課題

草野作工株式会社

草野作工の働き方改革実施方針 ～持続可能な建設業を目指して～

① 基本方針：「仕事改革」、「現場環境改革」、「本社オフィス環境改革」を三位一体で推進



②アクションプログラム： 1)仕事改革： 完全週休2日制工事实施率目標 H29 50% ⇒ H32 80%
ノー残業デイ 週1日⇒週2日；フレックスフライデイの実施
2)現場環境改革： カッコいい作業着の導入、土木女子の受け入れ環境
3)本社オフィス環境改革： 内装等リニューアル、外構の整備 など

完全週休2日制工事の実施内容と結果

*1 現場稼働期間は現場事務所の設置後、現場作業完了までの期間
 *2 完全週休2日制実施率=(週休実施日数/現場稼働期間の土日日数)×100

試行工事	落札日 工期 現場稼働期間	工事費 (百万円)	工事概要	工事实稼働 日数(日) *1	工事中止日数 (雨天など)	現場の週休実施結果 ()内;現場稼働中の 土日日数	完全 週休2日 実施率 (%) *2
石狩川改修工事の内 北村遊水地周囲堤 試験盛土外工事	3.22 3.31~2.23 4.19~12.26	417	築堤・護岸 掘削工 11,000m ³ 、盛土工 42,800m ³ 、 攪拌工 72,300m ³ 、土砂等運搬 39,400m ³ パーチカルドレーン 3,770本 圧密排水・集水管 2,517m 等	183	4(全体) 24(土工)	土曜 20日(36日) 日曜 36日(36日) 振替日数 16日	100
石狩川改修工事の内 江別太遊水地 西13号周囲堤工事	3.22 3.31~2.13 4.20~11.20	585	築堤・護岸 盛土工 76,100m ³ 、攪拌工 74,500m ³ 法面整形工 9,800m ² 地盤改良工、圧密・排水工 等	162	53	土曜 22日(35日) 日曜 36日(36日) 振替日数 13日	100
道央圏連絡道路 南幌町 南9線改良工事	3.23 4.23~1.12 4.24~12.1	195	工事延長 1,666.20m 道路土工 掘削工 2,000m ³ 路体盛土工 3,700m ³ 地盤改良工 サンドマット 1,100m ³ スラリー攪拌 φ1.0 462本 中層混合処理 5,868m ³ 等	150	0	土曜 32日(32日) 日曜 32日(32日) 振替日数 0日	100
道央圏連絡道路 南幌町 南13線改良工事	3.23 4.23~1.17 4.24~12.26	270	工事延長 136m 道路土工 掘削工 2,000m ³ 路床盛土工 1,250m ³ 路体盛土工 4,500m ³ 地盤改良工 サンドマット 1,550m ³ ペーパードレーン 1,375本 中層混合処理 29,210m ³ 等	125	0	土曜 29日(31日) 日曜 31日(31日) 振替日数 2日	100

① 実施概要

- ・北海道開発局Aランク工事で市街地に比較的近い現場の河川、道路工事各2件で実施
- ・土曜日及び日曜日の完全閉所を理想とし、工程上やむをえない場合に限り土曜日に作業を行い、その場合は前後1週間以内の平日を振替休日とすることをもって完全週休2日とした。
(なお、閉所時には現場事務所内などでの事務作業も含めて一切の仕事を行わない。)

② 実施結果

- 完全週休2日実施率： 実施した4工事すべて100%
- 休日の振替： 土工事のウェイトの低い道路工事では土日休をほぼ完全達成
土工事のウェイトの高い河川工事では雨天等の工事中止日に振替
- 工事コスト： 地盤改良が中心の道路工事では特殊機械の損料の増で直接工事費が1割増加
土工事が中心の河川工事では協力会社との契約で作業員の週休補償分を上乗せ
- 超勤： 懸念された超勤の増加は作業の効率化により生じなかった。
- 完全週休2日実施によるメリット： 休日の予定が明確、健康的と職員に好評
- 考察： 現場条件、工期、天候不順等によっては、週休2日の完全実施が困難な場合も要想定

今後の課題

課題	当社としての対応策	発注者に望まれる施策	建設協会(業界全体)として望まれる対応策
1) 適正な工程の確保 工期遅延防止	<ul style="list-style-type: none"> ○シフト制に対応した現場技術者の確保 ○関連・近隣工事との早めの事業間調整 	<ul style="list-style-type: none"> ○余裕工期の設定 (施工量/工程の見直し) ○適正な時期(北海道独自)の工期設定 ○施工時期に対応した工程の補正・見直し ○悪天候による工事遅延時の契約変更 	
2) 協力会社の作業員の収入確保	<ul style="list-style-type: none"> ○完全週休2日制を前提とした協力会社との契約 	<ul style="list-style-type: none"> ○週休2日に対応した労務単価の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○週休2日への円滑な移行に向けての調整
3) 工事コストの増加		<ul style="list-style-type: none"> ○週休2日に対応したリース機材損料等の積算見直し ○週休2日実施企業の評価 (工事評定、総合評価入札など) 	
4) 残業の縮減 ①内業の省力化	<ul style="list-style-type: none"> ○社内用の工事書類を標準化 ○工事関連情報の社内共有の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ○工事関係書類の簡素化 	
②時間外の打ち合わせの縮減	<ul style="list-style-type: none"> ○協力会社への時間外電話を原則禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ○元請企業への時間外電話を原則禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間外電話の原則禁止を指導
③残業縮減の意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ノー残業デーの拡大・徹底(週1⇒週2) ○フレックス・フライデーの実施 (本社事務部門:2パターンの勤務体制) 		<ul style="list-style-type: none"> ○ノー残業デーの拡大・徹底(週1⇒週2)を指導
④現場技術者の技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○現場代理人、監理技術者以外の現場技術者への責任と権限の付与 ○チャレンジする機会を与え人材を育成 ○PDCAによる継続的教育及び自己研鑽 	<ul style="list-style-type: none"> ○若手チャレンジ型工事等の現場技術力向上のための取組を拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場技術者の技術力向上のための講習会等の取組の拡充
⑤適正な工期の設定	<ul style="list-style-type: none"> ○任意工期指定、フレックス工期の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○任意工期指定、フレックス工期の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○任意工期指定、フレックス工期の活用を指導
⑥工事施工の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○i-Conの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○i-Conの活用へのインセンティブ拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○i-Conの活用を指導
⑦現場技術者の増員	<ul style="list-style-type: none"> ○現場代理人と監理技術者の兼務解消 ○現場技術者の増員(技術者の採用) 		<ul style="list-style-type: none"> ○業界全体のイメージアップ、新規・中途採用希望者へのPR
5) 現場作業員(日給労働者)が 週休2日現場を回避 (業界全体の週休2日普及が必須)	<ul style="list-style-type: none"> ○直営については就業規則に完全週休2日制を明記 ○日給月給制を月給制に変更(実施済) ・土曜日を有給休暇として給与支給 	<ul style="list-style-type: none"> ○就業規則で完全週休2日を位置付けている会社に入札等でインセンティブを付与 ○労働賃金のダンピング防止と適正な支払いを保証するために設計変更時に人件費はそのまま計上し、人件費を除いた額に落札率を掛ける算定方式に改定 	<ul style="list-style-type: none"> ○完全週休2日制導入に向けたモデル的な取組 ・札幌建協、空知建協の会員企業は各社申し合わせて入社3年以内の社員については原則土日を休日とする ○就業規則に完全週休2日制を明記するよう指導 ○日給月給制を月給制に変更 ・土曜日を有給休暇として給与支給